草津別荘ライフと湯ノ丸山スノーハイク（S治）

メンバー　S々木（L）、佐治

S々木さんから日曜日の昼過ぎに東京を出て、夕方草津の別荘に入り翌日登るというゆったり計画が提案されたのでさっそくエントリーした。S々木さんとの山行は初めてだったが、例会で草津別荘の快適さと、S々木さんの人となりを聞いていたので、期待が高まる。
東京駅発 13:16 の新幹線で高崎へ。レンタカーを借りて草津の S々木さんの別荘に 17 時前に入る。この時期は 17 時でも明るいので、安心だ。
別荘での夕食は、毎回バーベキューということで、S々木さんが手際よく準備をしてくれた。バーベキューは単に肉と野菜を焼くだけと思っていたが、ほかにもホタテのホイル焼き、牡蠣のホイル焼き、鮭のちゃんちゃん焼き、バーニャカウダーと豪華絢爛。さらに用意された飲み物がよなよなエールとスパークリングワイン（きっと高級）。私はビールの中ではよなよなエールがベストに近く好きなので、牡蠣に、ほたてによなよなエールというだけでも有頂天。それを炭火を起こして調理するから野趣満点で最高です。
でもそこそこ満腹になったあたりから、さすがに寒くて室内に移動して続きをやった。S々木さんは話も面白くて、聞き入っていたら、いつの間にか 23 時近くになっていた。

2020年2月24日（月） 快晴

メインの登山は、白根山から芳が平のツアーができるならこれがベストなのだが、今は火山活動による規制で入山禁止だ。とっても残念なことだがゴンドラも撤去されたらしい。カメ派がぞろぞろ来るならと思って芳が平ヒュッテ往復とランチも考えたが、誰もエントリーがないので、S々木さんの元からの希望の湯ノ丸山に行くことにした。

午前中西から強風の天気予報だったので、東面から湯ノ丸山を登って、午後峠に下る計画にした。登り出しは先週歩いたコースだ。風が収まってから角間峠に下る計画にした。登り出しは先週歩いたコースだない限り、スキーよりもスノーシューは軽くてそれなりに快適だ。ほとんど風もなく快晴で、いかにもスノーハイクといった感じだ。休憩しても温かさを感じられた。雪も安定していて、予定よりも早くに湯ノ丸山頂についた。快晴の空の下、360 度の展望が手に入る。登山者も次々と上がってくる。今日は湯ノ丸日和だ。山頂はさすがに風が強いので、少し風下に下って休んだ。

山頂から峠への稜線は、いかにもスノーシュー向けの快適な歩きが楽しめる。ところどころ樹林の間から、北アルプスや、浅間山方面の展望がひらけ、とても気分のよいところだ。傾斜があるところでは尻セードも楽しめる。
峠からは夏道通しに下ったが、スキーよりも楽に感じられた。渡渉点の先で、一部雪が切れていた。先週はつながっていたので、一段と雪が解けたようだ。先週のスキーでの下りより半分ぐらいの時間で旧鹿沢温泉についた。温泉とそばのセット 1200 円でフィナーレ。

コースタイム
2 月 24 日
9:00 旧鹿沢温泉発　　11:35 湯ノ丸山　　12:40 角間峠　　13:20 旧鹿沢温泉